

第4章 基本的な考え方

1 町立図書館の将来像

生涯学習における町民の読書・学習活動を支援するため、資料の収集と広報紙やインターネット等による情報提供を行い、町民が等しく自由に利用でき、町民や地域に役立つ、学びの拠点となる社会教育施設として、今後の図書館運営において、さらなる町民サービスや利用者の満足度の向上を目指し、将来像を次のように定めます。

『人と地域の学びを支える図書館』

2 基本目標

町立図書館の将来像を具現化する基本目標を以下の6つとします。

(1) 将来を見据えた資料の収集と保存を行う図書館

幅広いニーズに対応するとともに、将来にわたって利用できる資料の収集と保存を行う図書館を目指します。

(2) 環境を整備し進化する図書館

より高いレベルのサービスを提供するための環境整備を行い、効果的で効率的な運営を行う図書館を目指します。

(3) 誰もが利用しやすい図書館

あらゆる人が図書館に足を運びやすくするとともに、様々な理由や環境によって図書館利用が困難な人の学びを支援する図書館を目指します。

(4) 未来を担う子どもの読書を支援する図書館

次世代を生きる子どもが、個性を伸ばしながら健やかに育つために、子どもと本の出会いの場となる図書館を目指します。

(5) 人と人との出会いを広げる図書館

ボランティアや団体・サークルの活動を支援し、生涯学習の学びの場となる図書館を目指します。

(6) 町民の相互理解を支える図書館

外国語を母語とする人の利用の拡大や、個々の持つ文化をお互いに認め合う共生の場となる図書館を目指します。